

役割を担っており、医療環境の改善・充実を図るため建替工事に着手し、令和7年6月の開院を目指して工事を進めてまいります。

将来にわたって地域住民が夢と希望をもって、安心して暮らせる八雲町の実現には、多くの課題や困難があると思います。それらを克服していくためには、町民・議会・行政の知恵と工夫の結集が必要なことから、議員各位および町民皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

以下、第2期八雲町総合計画の基本目標ごとに考え方と具体的な方針を申し上げます。

1. 八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備

(1) 土地利用の推進

八雲町でも人口減少や少子高齢化が着実に進んでいるため、八雲市街地の基本的な整備方針となる「都市計画マスタープラン」および「立地適正化計画」などの計画に基づいた持続可能なコンパクトなまちづくりを推進し、居住環境

や行政、医療、保健・福祉などの都市施設機能の維持向上を図ってまいります。

新役場庁舎等の整備に向けて、令和5年度から実施設計に取り組んでおりますが、令和6年度は、敷地内にある旧国立病院機構八雲病院の建物解体工事および新庁舎の書類保管や災害備蓄品保管場所として活用する旧養護学校の内部改修を予定しており、令和7年4月からの新庁舎建設工事着工に向け準備を進めてまいります。

また、令和6年度には、「北海道新幹線新八雲(仮称)駅周辺整備計画」が完成する予定となっていることから、今後は本計画に基づき、魅力ある新駅周辺整備を進めてまいります。

熊石地域においては、令和7年度以降の事業化に向け、平地区レクリエーションエリア中心地の民有地の先行取得を行い、観光施設等としての活用を進めてまいります。

(2) 自然環境の保全

自然豊かな恵まれたまちとして、環境保護や地球温暖化

対策に引き続き努めてまいります。

ヒグマやエゾシカなどの有害鳥獣対策については、「八雲町鳥獣被害防止計画」に基づき、猟友会や鳥獣被害防止対策協議会等の関係機関・団体と連携し、総合的かつ安全性を重視した対策を行い、有害鳥獣の個体数調整と農林業被害の軽減を図るとともに、電気柵の設置など農作物被害防止策への支援やハンター後継者の育成に対する支援を継続して実施してまいります。

(3) 市街地および集落の環境整備

安全で快適な都市生活と機能な都市活動の基礎となる

街路整備については、道道である3・4・2出雲通、3・4・7本町大通の整備事業が進められており、早期完成に向けた要請活動を行っていくとともに、街路整備工事に伴う支障となる既存の雨水排水施設、水道・下水道施設についても、引き続き移設整備を進めてまいります。

空家等対策については、保安上や衛生上において支障を

きたす管理不全な特定空家の除却・解体の支援や、空家の改修による利活用促進に向けた再生支援を実施しておりますが、更なる管理不全な空家の防止・解消に向けた対策の検討を進め、町民の安全で安心な居住環境の形成を図ってまいります。

航空自衛隊八雲分屯基地は、広大な敷地を有し、大規模災害時等において重要な活動拠点となり得ることから、災害時の支援活動の拠点機能の整備充実のほか、各種訓練での活用等について要請してまいります。

(4) 道路網の整備

熊石八雲間を結ぶ国道277号については、急カーブや急こう配が多く、事故や災害等たびたび通行止めになることから、北海道新幹線新八雲(仮称)駅の開業を見据え、地域経済の発展と安定的な物流・人流の確保に向け、早期整備着手を要請してまいります。

国道229号は、乙部町での岩盤崩落に伴う新ルート建設のための工事用道路の整備

が本格的に始まりましたが、今後においても早期完成に向けて引き続き関係機関に要請してまいります。

道道については、管内各路線の事業促進と、特に新幹線開業に向けては、新八雲(仮称)駅から道道八雲北檜山線へのアクセス道路および八雲市街地から新駅までの路線整備の早期完成に向けて、関係機関に要請してまいります。

町道については、劣化・損傷している道路の計画的な改良整備を進め、橋梁についても「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた効率的な修繕を実施し、維持管理コストの縮減を図りながら、将来にわたって持続可能な道路の維持管理に努めてまいります。また、関係機関と連携して通学路などの安全対策を行い、安全で安心な道路交通の確保に努めてまいります。

(5) 交通体系の整備

北海道新幹線開業後にJR北海道から経営分離される並行在来線や、新たな交通モード等の在り方については、引き続き北海道および沿線自治